

「ゆめ」をつめて「まち」をひとつに

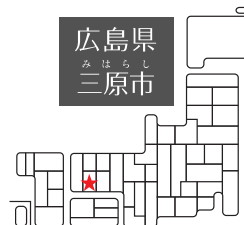
ひろしま

広島みはらプリンプロジェクト

じっこういんかい

実行委員会

広島県
みはらし
三原市



ビジネス・
イノベーション部門



6次産業化

地産地消

企業との連携



「デザートプリン」「デリカプリン」の商品一覧



広島みはらプリンのロゴマーク



年2回発行するガイドブック「おでかけプリン」

概要

- ◆ 地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目。「デザート」と「デリカ（惣菜）」の2カテゴリーのプリンを活用した官民連携のまちおこしを実施。
- ◆ 1次生産者等の所得向上や地域内消費の拡大、食の付加価値向上に向けて、広島みはらプリンの認定や催事への出店、販路開拓等を実施。

成果

- ◆ 催事及び JR 三原駅構内での売上は、約 10 万円（令和3年度）から約 1,300 万円（令和4年度）に急増。参加店舗での店頭販売や EC サイトでの販売実績を含めると、2,600 万円（令和4年度）の経済消費を創出。
- ◆ 参加店と連携して冷凍プリンの開発や冷蔵での日持ち化を進め、首都圏での長期催事を可能とした他、ふるさと納税の返礼品としても販路拡大。

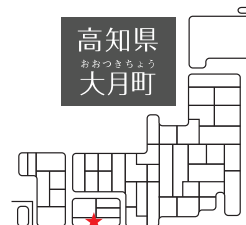


ディスカバー農山漁村の宝（第10回選定）

資源循環利用による持続的産業を目指して

おおつきちょうびんちょうたんせいさんくみあい

大月町備長炭生産組合



コミュニティ・
地産地消部門



林業

環境保全（農林水
産業・食品産業）



「植樹祭」



「山づくり」択伐



小学校での「製炭学習」

概要

- ◆ 地域に自然分布するウバメガシから備長炭を生産。貴重な資源であるウバメガシを将来に残すため、循環利用可能な山づくりや苗木づくり、植樹祭等の人と自然の共生社会づくりを実施。
- ◆ 地元小中高生への森林環境教育の継続的な開催のほか、育成した苗木を町有林に植栽することで資源循環利用による持続的産業を実現。

成果

- ◆ 資源循環利用のための活動を付加価値として備長炭の価格向上に繋げ、備長炭生産者や原木の伐採を担う森林組合・自伐林家の所得向上に貢献。
- ◆ 資源量を考慮した備長炭生産を行いながらも、平均約 5,700 万円（平成 30 年度～令和 4 年度）の売上を維持。

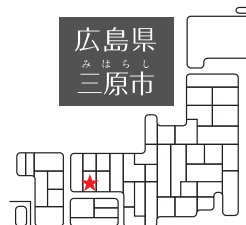


ディスカバー農山漁村の宝（第 10 回選定）

商工農福連携でサステナブルな未来を描く

かぶしきがいしゃはってんどう
株式会社八天堂ファーム
はってんどう えん
(八天堂ぶどう園)

広島県
みはらし
三原市

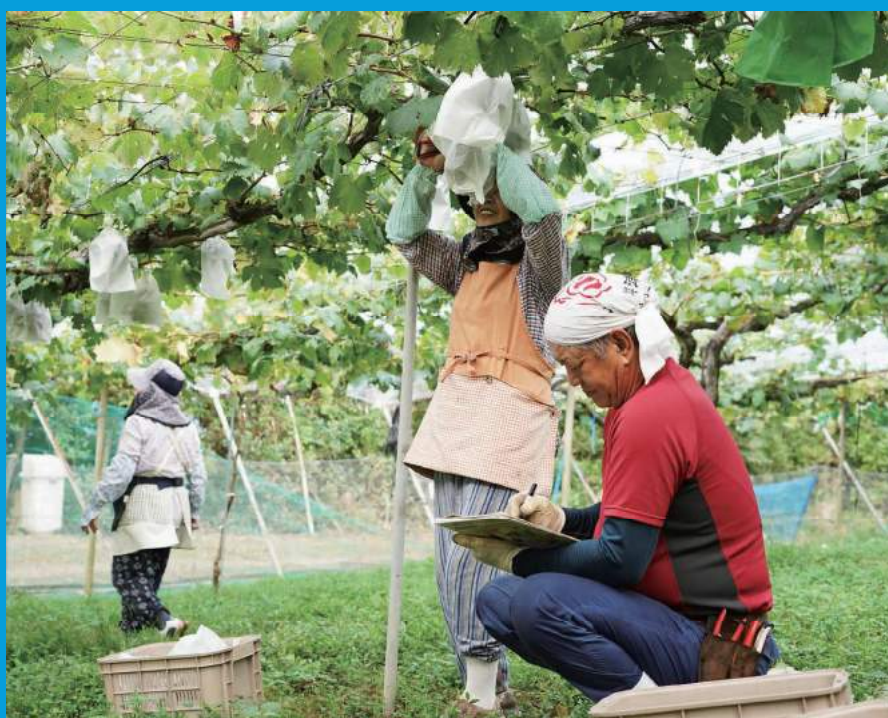


ビジネス・
イノベーション部門

農福連携

6次産業化

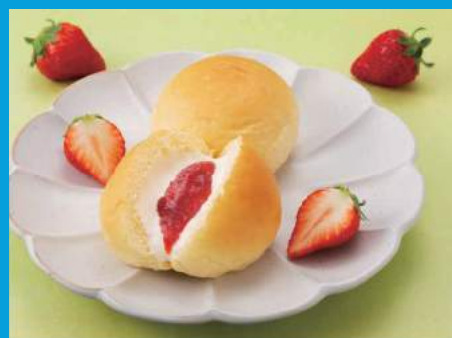
雇用



オーナー不在のぶどう園を再生



収穫したぶどうの加工品



2023 年新ブランド「果実なくリーむパン」

概要

- ◆ オーナー不在のぶどう園を、リカレント教育受講を通じて関係構築した社会福祉法人と共に引き継ぎ運営。農福連携果実を加工し付加価値をつけて販売することで収益性を高め、活動をサステナブルとする商工農福連携活動を実施。
- ◆ 収穫したぶどうの規格外品をジャム加工しパンを販売する他、農福連携事業者から苳を調達して新たなブランド化を行うなどの取組も実施。

成果

- ◆ ぶどうの収穫量は、約 4,000 房（令和3年度）から約1万 4,000 房（令和4年度）に増加。また、売上高は、約 400 万円（令和3年度）から約 800 万円（令和4年度）に増加。
- ◆ 高校や法人関係者4者での連携協定を締結し、将来の福祉人材育成に貢献。



ディスカバー 農山漁村の宝（第10回選定）

完全受注漁による持続可能な漁業

と み な が く に ひ こ
富永 邦彦

岡山県
たまのし
玉野市

個人部門

水産業

環境保全（農林水
産業・食品産業）

教育機関との
連携



玉野市の全中学校社会科教諭 邦美丸視察



鮮魚セットを作っている様子



鮮魚セットを持つ富永夫妻

概要

- ◆ EC サイトや SNS を活用して消費者から事前に注文を受けて、必要な魚だけを獲る国内初の「完全受注漁」を実施。
- ◆ 水産資源の乱獲、価格の不安定性、漁師の過労問題、後継者不足問題といった、現在の漁業の課題解消への取組。

成果

- ◆ 操業時間・軽油使用料は、12 時間・約 6,500ℓ（平成 30 年度）から6時間・約 5,400ℓ（令和4年度）に削減。受注漁による売上は、約 360 万円（平成 30 年度）から約 800 万円（令和4年度）に増加。
- ◆ 売上を落とさず削減された労働時間を活用し、地元の漁業協同組合との連携による漁業体験の提供や、市内全中学校の社会科教員の視察受入等、地域の活性化に寄与。



ディスカバー農山漁村の宝（第10回選定）